

1 希望と活力にあふれた生活創造都市

●モノレール駅周辺整備

- 【経塚駅】 公民連携の手法による公園の整備
- 【浦添前田駅】 公民連携の手法による観光交流拠点施設の整備
- 【てだこ浦西駅】 総合交通結節点機能をいかし、魅力ある市街地整備を推進



▲てだこ浦西駅周辺

●観光振興の推進

- 古琉球関連施設周遊ルートを策定し、広域的な誘客活動を展開（首里城応援プロジェクト）

●基地返還後を見据えた取り組み

- 牧港補給地区の土地の先行取得事業

●那覇港港湾整備

- 世界水準の観光リゾート地の形成に向けた取り組み

2 世界へ翼を広げる交流文化都市

●所得制限付きで給食費の全額補助

●幼稚園における

特別支援学級の充実

- 3歳児・4歳児・5歳児を対象として実施

●学校施設の整備

- ・仲西中学校校舎の一部改築工事
- ・浦城小学校の空調設備改修

●県内最大の美術・工芸公募展「沖展」の開催協力



▲「築の日」の給食時間

3 ともに支え合う健康福祉都市

●福祉のまちづくり条例の制定に向けた取り組み

- 自助・互助・共助・公助で取り組む地域福祉の実現を目指す。

●放課後児童クラブ(学童クラブ)の供用開始

- 前田小学校・牧港小学校敷地内の学童クラブが新たに供用開始。

●身障者用駐車スペースの適正利用促進

- 利用認定証を対象者に配布する「パーキングパーミット制度」を市内公共施設の一部で導入。

●特定健診受診率向上に向けた取り組み

- ICT（ショート・メッセージ・サービス）を活用した取り組みを実施。

4 安全安心でやすらぎにみちた快適環境都市

●次期グリーンセンターの整備

- 中城村・北中城村と共同で整備。施設建設に向けて発注作業に着手するとともに、引き続き、環境アセスメントを実施。

●消防体制の充実

- ・消防資機材の更新
- ・災害時における広域的な連携体制の構築

5 ひと・まち・未来が輝く市民協働都市

●行政サービスの電子化

- デジタルガバメント化を推進。市民の利便性向上に努める。

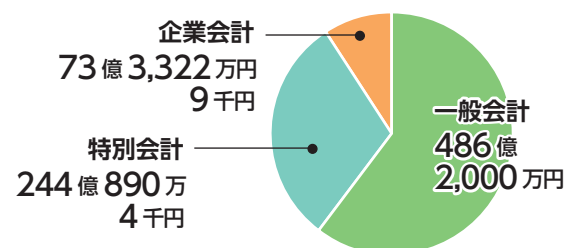
●市民協働体制の構築・推進

- 情報一元化・ワンストップ窓口機能の充実。

●会計の区分について

- 一般会計** 福祉、教育、公共施設の整備、環境保全など市町村の基本的な施策を行うための会計です。
- 特別会計** 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計で、国民健康保険、介護保険などがあります。
- 企業会計** 独立採算による特定の事業を経理する会計で水道事業会計と下水道事業会計があります。

新年度予算案



福祉関連複合施設 いよいよ完成

福祉分野におきましては、かねてから整備を進めておりました障がい福祉関連複合施設が、いよいよ完成の時を迎えます。当施設は障がい者・障がい児の幼少期から成人期まで一貫性のある継続支援を可能にする施設であり、県内初の一体型複合施設です。令和3年4月の供用開始に向け、関係機関と連携しながらしっかりと準備を行ってまいります。

モノレール駅周辺開発

モノレールの延長開業は、大変喜ばしいことですが、私はモノレールが単に移動の手段だとは考えておりません。まちに新たな魅力を創出させる起爆剤だと考えております。

令和2年度は、モノレールが運行しているからこそできるまちづくり、まさに、浦添新時代の第一歩を力強く踏み出してまいります。

沖縄一優しい福祉のまち

平成30年度及び平成31年度の施政方針におきまして、沖縄一優しい福祉のまちを目指すと言いました。その想いは現在も変わらず、令和2年度におきましても、沖縄一優しい福祉のまちを目指してまいります。

首里城応援プロジェクト

昨年10月、首里城の火災がありました。多くの県民が大きな衝撃を受け、心を痛めた出来事でした。しかし、悲しんばかりでは先に進みません。沖縄県民の誇りであり、浦添市と深い縁のある首里城の復興を心から願ひ、11月に「てだこのまち首里城応援プロジェクト」を立ち上げました。令和2年度も、引き続き同プロジェクトを中心に首里城の復興を力強く支援してまいります。

市制施行50周年

「承知のとおり、令和2年度は市制施行50周年の年です。市に昇格した昭和45年当時、人口は約4万2千人でした。

浦添市長 松本哲治



その後右肩上がりで上昇し、現在は約11万5千人となっております。これもひとえに浦添のまちづくりに「尽力された先人達の努力の賜であり、節目の年を迎えるにあたり、改めて感謝と敬意を表する次第です。

今後は、50年の歴史を踏まえ、先人達が築いてきた伝統・文化などをしっかりと受け継ぎ、未来に残していかなければならないと考えています。また一方で、市民ニーズ、社会の変化を分析し、時代に沿ったまちづくりを進めることも重要だと考えております。過去に学び、現在を見つめ、未来へ向かいその一歩を踏み出す、そういった年にしていきたいと考えております。



▲施政方針の全文は市ホームページをご覧ください。

ためには、日頃からの基本的な備えが重要となります。50年目の節目にあたり、未来を見つめるとともに、改めて足元を見つめ、基本を再確認し、一歩一歩着実に前進してまいります。

令和2年度は、市制施行50周年のキヤッチフレーズであります「50年の時を越え、一歩また未来へ、浦添市」をキーワードとし、様々な「一歩」を踏み出していききたいと考えております。

「太陽とみどりにあふれた国際性ゆたかな文化都市」を目指し、各施策を展開してまいりますので、市民の皆様のご理解・協力を賜りますようお願い申し上げます。

※施政方針の一部抜粋して紹介しています。